

多職種協働で推進する 医療の力

先進的かつ効果を上げアウトカム
評価がなされている事例より

チーム医療が効率的かつ患者の状況に的確に対応するための医療提供システムとして提唱・期待されて久しいが、その有効性を十分に引き出すことは容易ではない。

厚生労働省は「第9回チーム医療推進方策検討ワーキンググループ」において、チーム医療実証事業委託施設として68施設の115チームを選定した。本特集では、選定されたチームからの報告を紹介する。先進的でかつ効果を上げ、またそのアウトカム評価をしっかりと行なっている各施設の取り組みを参考としていただきたい。

各専門職が高い役割意識をもち チームの存在感を高める

院内における緩和ケアチームの役割と専従看護師の活躍

菅野喜久子

リンクナースの活用で現場に根差した活動の推進

武蔵野赤十字病院におけるICTの活動

都倉広子／若林稲美

常に病棟に専門職がいること、 そしてその専門性を活かす

褥瘡対策における栄養サポートチーム専従看護師の関わり

高橋陽子

看護師が他職種と協働で行なう 身体的・精神的・社会的ケア

造血幹細胞移植チームにおける口腔ケアの成果

田沢弘子

精神科の急性期から社会復帰までを リカバリー支援する

総合心療センター近森ケアシステムの実例

松永智香／武田直子／西岡由江／岡村邦弘／山中俊典